

第61回関西広域連合委員会

日時：平成27年9月27日（日）

午後4時08分～午後5時01分

場所：大阪府立国際会議場 12階 特別会議場

開会 午後4時08分

○広域連合長（井戸敏三） それでは、第61回関西広域連合委員会開催したいと思います。

今日は、テーマは沢山ありますが、協議事項としては2件です。あと報告事項ですので、審議のご協力をよろしくお願いいたします。

仁坂知事が見えてませんが、今国体で、しかも天皇皇后両陛下がご来県されているので、おいでになれない状況ですのでよろしくお伝えくださいということでしたので、各委員の皆様にお伝えさせていただきたいと思います。

それでは早速始めさせていただきます。

協議事項の1番、関西人口ビジョンと関西版総合戦略の策定についてですが、これは前回の委員会の時にもご相談をさせていただいてきました。総合戦略についてはつくる方向で検討を進めたいと考えています。

それから人口ビジョンについては、やはり総合戦略をつくるなら2060年の展望に目標がないので展望の考え方を踏まえて人口目標を将来50年先か、45年先はともかく将来目標を持つということと、もし総合戦略をつくったらその中でも目標を持つという2つの考え方を整理させていただいたものです。

事務的に何か説明することありますか。数字が出てくるから説明してください。

○事務局 数字の説明させていただきます。関西人口ビジョンのほうで3つ数字を入れていますが、一つ目は全国の人口を1億人とした場合の国の推計、そこから比率を出しまして単純に比率が17.4%ですので1,740万人という推計を立てております。展望研究のほうからの推計は、国立社会保障人口問題研究所で算出した2040年の推計

人口をもとに10年ずつそのままスライドするということで試算しております。それが1,507万人です。

もう一つは現時点の各府県の人口ビジョンを単純に積み上げたものでございます。これは各府県検討中の公表資料から抜粋した数字でありまして、府県により推計値であり目標値であったり、いろいろと混在しておりますので、足したからどうというわけではないですが、推計値として入れさせていただいております。

以上です。

○広域連合長（井戸敏三） これから総合戦略をつくろうということにしていますので、総合戦略をつくる過程でご相談をしていこうと考えております。ただ、各府県の人口ビジョンを無視できるかどうかというところは非常に微妙なところで、この点はまたいろいろな議論も重ねた上でご相談したいと思っています。どうぞ。

○副委員（植田浩） もちろん、総論賛成で、策定していくということですが、よく議論の過程ですり合わせを各府縣市とやっていただきたいということでございます。

人口ビジョンにつきまして大阪府の場合は、大阪府の人口ビジョンで明確に数値目標とは位置づけずに今後の将来見通しのシミュレーションという形で整理しておこうという議論をしております。国のほうも1億人という数字が本当に目標なのかどうかというのは少し議論があるところではないかというふうにも思っておりまして、そのあたり含めて、ただ今連合長がおっしゃったように、単純にそれぞれの府縣市の数字を積み上げてでき上がりというわけにはいかないという部分があります。そのあたりよく今後すり合わせをお願いしたいと思っております。

総合戦略の中身についても当然いろいろな各府県の目指す方向性などもあるでしょうから、そのあたり含めて議論させていただきたいと思っております。

○広域連合長（井戸敏三） 人口ビジョン書けって言ってますよね。それを大阪はシミュレーション結果だということではビジョンとは言わないのですか。

○副委員（植田浩） 人口ビジョンなんですけれども、具体的にこの数字が目標である、2060年にこの数字に行くんだとまでは言わないということで今整理しているんです。

○広域連合長（井戸敏三） うちはまだ明確に450万人で位置づけています。

○副委員（植田浩） それは各県によって明確にやってらっしゃるところも沢山あると思いますけれども。

○広域連合長（井戸敏三） どうぞ。

○委員（山田啓二） うちにはバッファでやります。要するにここが理想だけれどこのあたりがもう一つの目標になってくる。その間を交流人口で補ったりしていかないといけないので、バッファで出そうと思っています。各府県それぞれの考え方がありますし、それから市町村の数字を積み上げて都道府県の数字にはならないと思うのですよね。この問題も国には指摘しておいたのですけれども、逆に言うとそういうものを合わせる質のものではないだろうと。国がそれぞれ市町村のものを受け取るわけですから。そうした中でそれぞれがやはり思いや心意気を持ってやっていく話だということで行くしかないというのが実態だと思いますので、関西の目標を考える場合もそうした点を少し踏まえてやっていただければありがたいと思います。

○広域連合長（井戸敏三） きっと関西の人口ビジョンをつくろうとしたときには今山田知事おっしゃったように上中下とか、何通りかを提案せざるを得ないんじゃないかという感じはします。本県もそうするのも検討したんですが、わかりにくい。だからわかりにくいから1億人と国が言っているの、それに準じた対応していこうということで決めました。その辺は各県あるいは各市の取組姿勢によると思いますので、その上で最後に調整をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それともう一つ、総合戦略のレベル。さきほども意見がありましたけど、関西広域連合で出来る話と、構成府県や市でやるべき話と、それから市民レベルでやってもらわなければいけない話と、国にやってもらわなければいけない話というのがあるんです

よね。その辺をどううまく取りまとめるかというのも課題だと思っています。余りぎりぎりやると実を言うとほとんど総合戦略として広域連合でやるのがなくなってしまいう可能性がある。調整事務しか残らなくなってしまう。それと広域防災とか広域観光とかあるんですが、これもいわば一種の調整なんですよ。あるいはガイドラインをつくってるわけですよ。ですから余りぎりぎりぎりぎり総合戦略と言ってしまうと戦略ないのではみたいなことにもなりかねないので、この辺取りまとめに工夫が要るのでないかと思っておりますので、この辺もいろいろご指導いただいたらありがたいと思います。

今年度末ですか、スケジュール。

○事務局 骨子が今年度末で、来年度の秋11月を目指しております。実施事務の面もありますので、今後の広域計画とのにらみもありまして26から28年の広域計画の実績等勘案してつくっていきたいと考えております。

○広域連合長（井戸敏三） スケジュール感よろしいですか。少し遅いという気がするんだけど。皆さんがよければ。少し遅いのでは。11月というのは。

○事務局 骨子的なものは年度内につくらせていただいて、人口ビジョンもある程度のもは今年度内につくらせていただきます。最終的に総合戦略としては28年度になってくる。

○広域連合長（井戸敏三） そうか。議会の議決を得るわけね。だから議決を得るのが11月議会だという意味ですね。だからパブリックコメントとかなんかになると8月過ぎぐらいには骨格どころじゃなくて全体がまとまっていますという話です。

○委員（山田啓二） そうなってきますと各府県のビジョンと大体1年遅れになるわけですよ。1年遅れになるところの理由づけとそれがいいのだというところのものははっきりしておかないと単にスケジュールの関係でこうなりましたというのはなかなか言いづらいところありますよね。

○広域連合長（井戸敏三） それでは検討進めてまいりますので、よろしくお願

いたします。

資料2は奈良県加入に伴います関西広域連合広域計画の改定についてです。

事務局から説明をしていただきます。

○事務局 資料2でございます。奈良県の加入に伴う広域計画の改定でございます。改定の内容は設立の趣旨の部分に奈良県を記載するとともに区域図域内の概要対象区域に奈良県を加え、広域連合の今後の方向の部分において加入促進する団体から奈良県を外すというものであります。なお、委員会決定の後には下段に今後のスケジュールを示すとおり連合議会に諮っていきたいと考えております。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 広域計画は9月議会に規約改正を皆様をお願いしてますが、各構成府県市の議会におかけするのではなくて、広域連合議会にお諮りをして直すということになりますので、このようなご説明をさせていただきました。まずは、形式的な変更になります。11月議会の前には総務大臣の手続を終える予定ですね。

○事務局 総務大臣の規約変更の認可日程はまだ決まっておりません。ほぼ同じような時期になるかと思えます。

○広域連合長（井戸敏三） 下りてなくても提案する。施行期日を合わせておけばいいということですね。

何かご質問ありますか。

それではこのような形で11月議会に提案させていただきますので、よろしく願いいたします。

協議事項は以上です。

続きまして、報告事項を順次報告させていただきます。

まず、最初に資料3東日本の水害に伴います広域連合の支援でございます。防災局から報告させます。

○広域防災局長 去る9月9日から11日にかけてまして台風17号、18号の影響により

まして関東東北地方で線状降水帯による豪雨がございました。これに対する関西広域連合の支援を取りまとめたものでございます。

まず、東日本大震災の被災地域にカウンターパート支援を行っておりますことから、緊急に支援するという事で兵庫県から宮城県大崎市に対しまして物資支援を行っております。1に記載しておりますように支援物資として毛布1,000枚、ブルーシート225枚、タオル、スコップ、一輪車等を送っております。

それから人的支援といたしまして人と防災未来センターの研究員を10月10日から11日にかけてまして栃木・宮城・茨城各県に派遣いたしております。それから兵庫ボランティアプラザによりましてボランティア支援ということで9月17日から3日間20名を宮城県大和町に派遣いたしております。

参考として広域防災局の体制を記載いたしております。対策準備室、警戒本部それから応援・受援調整室を設置させていただいて支援を行っているところでございます。

なお、茨城県常総市の状況が非常に報道等で取り上げられておりました。広域連合といたしましても支援ニーズがあるかどうか、直接問い合わせを行い支援メニュー等も示しながら問い合わせをしましたが、県内応援等で当面は間に合うということでしたので支援内容としてはこのような状況になっております。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 他に何かございますか。

常総市が大変な状況ですが、特に泥出しとか。ですけど今のような状況なものですからまだ控えているということなんですけど、関東近辺の皆さんがかなり行ってられるらしいんですね。だからそれ以上にこちらから出ないといけないような状況が判明すればまたご相談をさせていただくということにしたいと思っております。

○委員（山田啓二） ボランティア関係の用具等はこちらからも向こうの求めに応じて出しておりますので、それぞれ向こうから希望に応じた形では動いております。

○広域連合長（井戸敏三） その辺は再度照会して取りまとめておく必要があるね。

お願いします。

続きまして資料4ですが、関西圏域の将来展望シンポジウムを11月14日、石破地方創生担当大臣をお呼びして提言の座長でありました五百旗頭先生と私と三者と鼎談をすることといたしております。そしてその後パネルディスカッションで具体の取組事例を紹介してただこうということにいたしております。ご承知おきをいただきましたらありがたいと思います。

石破大臣がもし続けられてなかったら前大臣ということでおいでいただくということでお話をしておりますので、いずれにしても石破大臣にお出ましをいただくということになります。それではご承知おきください。

続きまして、資料5 東南アジアトッププロモーションの実施結果についてであります。山田委員ご報告ください。

○委員（山田啓二） 9月18日から21日までフィリピンとマレーシアに行っていました。フィリピンは今回初めて行きましたが、去年が大体18万人、今年は既に17万人ぐらいの訪日外国客数で、今の伸びから言いますとすぐに50万人ぐらいになりそうだと思っております。と言いますのは、非常に親日的でどこへ行きたいかと言えば日本に行きたいと言う人が大変多いところでありまして、「大阪、京都、神戸ビーフ」という言い方をされたのですが、そうした面では本当にこれから伸びていくところだろうということで、先方からも随分いろいろなお話がありました。マレーシアも同様だったのですが、一番困っているのは関西に行きたいが、宿がとれない。宿問題を何とかしてほしいということが切実な問題として出されまして、我々としましても非常に答えに苦しんだところでございます。

それからマレーシアでは、クアラルンプールの伊勢丹で「オール関西フェスティバル」を非常ににぎやかにやっております、大阪の福娘が会場を練り歩くというようなことで地元の人に非常に好評でしたし、マレーシア政府の観光大臣への表敬訪問、そしてイオン店舗にも行きまして、関西のPR活動を行いました。そしてこの前、包

括協定を締結したイオングループアセアン本社の鷺澤社長と会談させていただきました。さらにこれからいろいろと積み重ねていこうということをお話し合ったところです。全体的に非常に親日的でいい雰囲気の中、プロモーションができたと思っております。一緒に行っていただきました皆さんにも心からお礼を申し上げます。

以上です。

○広域連合長（井戸敏三） ご苦労さまでございました。強行軍の2泊4日。いずれにしてもこういう形で存在感を少しずつ示していくことは非常に重要だと思います。

それと何か工夫がないでしょうかね。ホテルがない、泊まる場所がないというのに対して滋賀とか和歌山とかあるいは兵庫とか、うまくネットワークで聞いてみてくださいみたいなことが回すような仕組みはできないのでしょうかね。

○委員（山田啓二） 我々が強調してきたのはまさにそこです。公共交通機関が発達していて和歌山とか滋賀とかとても近いのですよと話してきました。そのあたりはより一層PRをしていかないと思います。やはり大阪、京都というファーストデスティネーションに偏ったところがありますので、その距離感も含めてパンフレット等つくって宣伝していくことが必要じゃないかと感じました。

○広域連合長（井戸敏三） ベトナムでもかなり急速にインバウンドが増えてきますから、あわせて関西全体の距離感がわかるようなプレゼンをきちっとしてくるようにしたいと思います。

○委員（三日月大造） 関西観光大使というのは何人ぐらいいらっしゃる。

○委員（山田啓二） 14組15人です。

○委員（三日月大造） そんなにいらっしゃる。

○委員（山田啓二） プロモーションに行くときに現地で非常に日本観光、中でも関西観光を一生懸命やっただいてくださる方を関西観光大使として委嘱状と名刺を渡しております。

三日月知事も今度マレーシアに行かれるということですが、他の府県市でも行

かれるときにはぜひとも関西広域連合もPRをしていただければありがたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

○広域連合長（井戸敏三） それでは資料6です。「KANSAI国際観光YEAR 2015」の第2回世界遺産サミットと連携した取り組みについてお願いします。

○委員（山田啓二） 今年の「KANSAI国際観光YEAR」は世界遺産関係をテーマとしていますので、和歌山県での世界遺産サミットにおいて取り組みを行います。国内の世界遺産のPRや商談会、さらには記念のスペシャルセッションということで仁坂知事と著名人による対談という形で世界遺産によるインバウンド観光推進の取り組みを進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

○広域連合長（井戸敏三） これも成功をお祈りします。成功させなければいけません。また、関西文化の日と関西文化月間についても山田委員お願いします。

○委員（山田啓二） これはもう恒例になりましたけれども、11月14日、15日を中心に11月中の期日に関西文化の日を行います。関西文化の日ではミュージアム等の文化施設について、今年は過去最高の約600施設が参加登録をしておりますので、入館料を無料として幅広く提供していただけることになっておりますので、ぜひともPRについていろいろな面でご協力をいただきたいと思いますと思っております。

○広域連合長（井戸敏三） 鳥居さん、ついでに神戸ビエンナーレの説明をしていただいたらどうですか。

○副委員（鳥居聡） この19日からビエンナーレということで、2年に1回の現代アートの展示会でございます。メイン会場は港の近くのメリケンパークなんですが、今年は東遊園地という市役所の近くの公園も使いましてやっておりますので、ぜひ機会があれば訪れていただければと思います。2カ月ほどやっております。

○広域連合長（井戸敏三） 県の美術館も、それから横井忠則美術館も協力をいたしておりますので。陶芸美術館も協力しております。

○副委員（熊谷幸三） 飯泉知事が7月、9月とこの委員会の席で「第九」の徳島

演奏のことでお願いをさせていただいてまして、アジア初演ということで1月30日に2,000人規模で行わせていただきます。それで今県内から1,500名程度、県外から関西広域連合府県市を中心としまして173名。今1,663名でございます。まだ若干の余裕がございますので、関西の皆様方からもお越しいただくようお願いいたします。指揮者は秋山先生でございます。ぜひとも。何か聞くところによりますとあちらこちらで「第九」のイベントがあるとお聞きしておりますけれども、とりあえずアジア初演の場所でございますので、ぜひともお越しいただきたいと思います。

○広域連合長（井戸敏三） 兵庫県も芸文センター10周年で初演が「第九」だったので、また佐渡さんが「第九」をやろうということになって、11月ですからね。ご安心ください。ダブリませんので。

続きまして資料8ですが、今年が播磨風土記編纂1300年ということを祈念いたしまして風土記が五つの地域で残っているんですね。その五つの地域の風土記をテーマに神話を考えようというシンポジウムを行うことにしております。ご紹介のみさせていただきます。

加西市の健康福社会館で行うことにいたしております。

それから続きまして資料9 歴史文化遺産フォーラム『古墳で読み解く日本の古代』の開催についてであります。これはまた山田委員の説明になっています。

○委員（山田啓二） 今年の世界遺産をKANSAI国際観光YEARのテーマに据えておりまして、特にその中でも百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援しているということで11月15日にあべのハルカスで開催いたしますので、ぜひともまた宣伝をしていただければありがたいと思います。

○広域連合長（井戸敏三） 入場無料ですから、ぜひお出かけください。

続きまして国際シンポジウム「関西アーティスト・イン・レジレンス」の開催について、林副委員からお願いいたします。

○副委員（林昭男） 資料10でございますけれども、関西では各地でアーティスト

ト・イン・レジレンスの取り組みが行われているところでございますけれども、これから文化芸術の取り組みをオリンピックに向けて本格化する中で、アーティスト・イン・レジレンスについての国際シンポジウムを開催したいということでございます。関西広域連合での初めての開催ということで、第1回を米子コンベンションセンターで開催いただくということでありがとうございます。当日はそこにありますような芸術家の皆様方の基調講演なりセッションをさせていただきたいと思っております。

あわせてこの期間、鳥取県では鳥取藝住祭という祭りをずっとやっておりますので、それとの連携で取り組みたいと思っております。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） この鳥の劇場ってどこにあるのですか。

○副委員（林昭男） これは鳥取市内の鹿野というところがございます。ちなみに来年はベセト芸術祭をここで開催します。ベセトというのは中国と韓国と日本でやります。もともとはペキンとソウルと東京ということでございましたけれども、来年はTの字で鳥取で日本で開催ということになります。富山と鳥取とで分散開催。

○広域連合長（井戸敏三） どうぞ。

○委員（三日月大造） 今事務的に話してくださっているんですけど、来年度は滋賀県立陶芸の森で開催したいと考えています。1992年からアーティスト・イン・レジデンス事業を実施し、これまで49カ国約1,000人の方々に来ていただいた実績もありますので、しっかりと準備したいと思えます。

○広域連合長（井戸敏三） それでは続きまして第4回ジオパークネットワークのシンポジウムの実施結果について林副委員からお願いします。

○副委員（林昭男） 承知しました。報告でございます。先ほどの協議会でも少し触れさせていただきましたけれども、第4回になりますアジア太平洋ジオパークネットワークのシンポジウムの開催をいたしました。

あわせてKANSAI国際観光YEARの取り組みも実施したところでございます。

会場は9月15日から20日ということで京都府から鳥取県の間、山陰の山陰海岸で開催させていただきました。日程は今のとおりでございますけども、海外から随分と沢山おいでいただきましたので大変ありがたく思っておりますし、ツアーにも参加いただきました。

あわせてその会場で関西広域での「KANSAI国際YEAR」の取り組みということで、来られた外国人の皆さんにジオパークなりジオツアーなり、あるいは関西の世界遺産の紹介や観光PRをさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 海外の人が半分以上ですね。これかなり海外PRされたんですか。

○副委員（林昭男） これはもともとジオパークの関係国会議がございまして、これが太平洋アジアネットワーク会議なんですけど、この時に再認定を承認するか新しい世界ジオパークを認定するという会議でございまして、今回は北海道の日高のアポイが世界のジオパークに認定されました。日本では。そういうようなことがありましたので、もともと関係者が随分おいでになって国際会議としてやられる部分があるということでございます。あわせてかなり中国から沢山おいでになりました。百五十、六十人ぐらいは、中国からお見えになった。

○広域連合長（井戸敏三） その19日の鳥取県の全体会議がそれですか。

○副委員（林昭男） トータルでございます。京丹後市、豊岡市もおいでいただいた方も含めての数字でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 今度ジオパークが格上げされますから、さらに注目をされることになろうかと思えます。山陰海岸ジオパークさらに振興を図ってまいりましょう。

続きまして資料12ですけれども、産業人材シンポジウムの開催について植田副委員からお願いします。

○副委員（植田浩） 「関西広域産業ビジョン2011」の中に四つの戦略があるんですが、そのうちの一つの戦略が「企業の競争力を支える高度人材の確保・育成」というものでございまして、その関連でこのシンポジウム、関西全域で産学が連携した取組が促進されるように企業、大学などの関係者を対象にして開こうというものでございます。12月8日火曜日13時半からナレッジキャピタル コングレコンベンションセンターで伊藤元重先生の基調講演、それから裏にございますように講演ですとか報告会なども予定しているところでございます。ぜひとも足をお運びいただければと思っております。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 伊藤先生、まだ現役なのか。ぎりぎりぐらいだね。

よろしく願いいたします。

それでは資料13の危険ドラッグ（シバガス）対策につきまして徳島の熊谷副委員からお願いします。

○副委員（熊谷幸三） 危険ドラッグ（シバガス）対策についてでございますが、このシバガスといいますのはヨーロッパあたりで手術をする前にこのシバガスを使って少しリラックスさせる。顔が少し緩んで笑ったように見えるということで笑気ガスと言われているようですけども、この乱用が我が国でも社会問題になっているということです。インターネットのほうで自転車のタイヤの補充用のガスとして売られているということでこれを国内では風船に詰めてそれを吸って多幸感、陶酔感を得るという目的で使われているということでもあります。しかしこの高濃度の笑気ガスを吸引すると酸欠状態になって正気を失うという危険性もあるということで新たな形態の危険ドラッグであるということで今後国内で乱用される恐れがあるということに危惧しているところでございます。

それで関西広域連合の対応といたしまして構成府県で連携いたしまして緊急的な広報啓発活動を行って、健康被害の発生を未然に防止したいと。実務担当者会議におい

てシバガスを含む危険ドラッグに関する規制啓発について情報共有を図るということで11月2日に会議を持たせていただこうというものでございます。

これまで構成府県の対応といたしまして参考に書かせていただいておりますけども和歌山、鳥取、徳島で条例によるそれぞれの薬品に指定をしているという状況でございます。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 徳島で被害者が出てきてる。

○副委員（熊谷幸三） まだない。

○広域連合長（井戸敏三） 事前対応をしっかりとやっていかないといけませんからぜひ。11月2日でもいいんですか。こんな先で。担当省会議なのに。

○副委員（熊谷幸三） 啓発は先に取り組みます。会議だけはこのぐらいに。早くできるようにしたら調整させていただきます。

○広域連合長（井戸敏三） なんか遅いなって感じやね。それだけ危険がある危険があると言いながら。

○委員（三日月大造） それぞれでやることはやってるんでしょうから。

○広域連合長（井戸敏三） あんまりやってる気配はないけどな。

○委員（山田啓二） 京都はもう規制にかかっています。今審議会にかける準備をすすめています。

○広域連合長（井戸敏三） うちが監視店指定だから。インターネットで買ってるわけでしょ。薬物指定じゃないから、どう取り扱うのかな。もし必要ならば繰り上げていただくということも検討していただいたら幸いです。

それから資料14カーボン・オフセットの実施につきまして、三日月委員のほうからご説明をお願いします。

○委員（三日月大造） 本日の会議は、カーボン・ゼロ会議として実施させていただいております。この会議と12月の委員会と2回実施いたします。その実績を取りま

とめてホームページ等でお知らせをして周知してまいりたいと思いますし、さまざまな低炭素社会づくりを進める取組事例として活用していきたいと考えております。

以上です。

○広域連合長（井戸敏三） 会議のオフセット分というのは何で埋め合わせをしているんですか。埋め合わせ手段。

○広域環境保全局長 徳島の森林保全活動によるものです。

○広域連合長（井戸敏三） 徳島の森林。そうですか。非常にわかりやすい。ありがとうございます。

オフセットは域内でうまく回せることを考えたほうがいいかもしれませんね。

○委員（三日月大造） 今後検討します。

○広域連合長（井戸敏三） 我々も県主催の会議の時に試みたりしたんですけどなかなか難しかった。オフセット手段が確立しないんですよ。それで協力企業を見つけたり、協力事業を見つけたりしてそれでやってきたんです。

それではデジタルコンテンツの学会、展示会の説明を鳥居副委員お願いします。

○副委員（鳥居聡） 資料15でございますけども、シーグラフアジアが11月頭に神戸でございます。

このシーグラフというのは、もともとアメリカの計算機学会が北米、アメリカとカナダでこういうイベントとカンファレンスをやってたんですが、2008年からシーグラフアジアということでアジアで毎年1回展開されてまして、今年は神戸であるということでございます。チラシもつけてますからご興味ある方はぜひ来ていただきたいと思うんですが、それと神戸市がブースを90平米ほどお金出してやります。ぜひ関西コンテンツという時間帯を設けたいと思っておりますので、神戸市内だけじゃなくて関西でこのシーグラフの中でいろいろ宣伝されたいという企業とか団体とかがございましたら、これは調整してみないとわかりませんが、どんな感じになるか、どの程度応募があるかによりますけれども、ぜひ我々の90平米ほど借りたフロアというかスペー

スの中で宣伝していただければと思いますので、もしご興味があるところがありましたら神戸市までご連絡いただければと思っていますところ。よろしくお願いします。

○広域連合長（井戸敏三） 鳥居さん、この神戸市公安9課というのは何ですか。

○副委員（鳥居聡） これは攻殻機動隊という漫画というかアニメがあるんですが、これの中で作者の方が、神戸の原風景をいろいろ背景に使っていただいています。実際にこの漫画の中でですね。そのパンフレットの下イラストが実は描き下しで描いていただいているものですが、神戸を想起させる風景が攻殻機動隊の映画の中に時々出てきます。ということで神戸市としてもぜひこれを宣伝に使わせていただきたいということで、公安9課というのが中に出てくるんですが、それを神戸市公安9課というのをつくったということにしてこれをキーに宣伝していくということで今取り組みをさせていただいているという攻殻機動隊の絡みです。

○広域連合長（井戸敏三） ありがとうございます。せっかくのお申し出でもありますので、シーグラフアジアに関連する展示等を検討される向きがありましたら神戸市さんと相談していただいたらと思います。

兵庫県は何か申し入れをしているのかしら。私も確認しなくちゃいけない。せっかくだから。加古川あたりにこういう関心のある企業があるんじゃないかと思うんですよ。

一応以上で報告事項も終えさせていただきました。一番最後に今後の広域連合の予定を掲げさせていただいておりますので、ぜひよろしくご理解いただきたいと思います。

10月30日からの日韓地方自治フォーラムに参加される知事がいらっしゃいますので、10月の連合委員会を30日から29日に変更しています。

このため、日程調整がうまくいなくて近畿ブロック知事会の方は少し調整をさせていただくということになってますのでご理解ください。

あと11月は19日。12月は24日クリスマス。1月は28日。家族サービスの時間には終

わってますから大丈夫です。

それではご承知おきいただきたいと思います。他に何かございますか。

どうぞ。三日月委員。

○委員（三日月大造） 1点だけ。琵琶湖の保全と再生のための法律が国会で成立しました。関係する協議会がまた立ち上がりますので、ご協力方よろしく願いいたします。

以上です。

○広域連合長（井戸敏三） 関連して瀬戸内法の再生法も成立しましたので、湾岸委員会というのを発足させる必要があります。きっと大阪湾とか播磨灘とかというところ大阪、兵庫、徳島、香川とか関連が出てくると思いますが、どうぞよろしく願い申し上げます。

それでは、以上で第61回連合委員会を終えさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

○事務局 それでは引き続き記者会見を行いたいと思います。もし、質問おありの記者いらっしゃいましたら、挙手お願いできますでしょうか。よろしいですか。どうぞ。

○共同通信社記者 お疲れさまです。共同通信の堀口と言いますが、資料13であったシバガス対策についてお伺いしたいんですけども、今参考情報で3県のほうが条例による指定を行っていると思うんですけども、昨今の自転車ブームでこういったものが結構出回っていると思うんですけども、他の自治体さんの中では11月2日の実務者対策を前に条例指定するお考えがあるのかどうなのか、もし既に検討を始められていて条例指定をされると考えてらっしゃるような自治体さんがあったら手を挙げていただければと思うんですけども、お願いできますでしょうか。

京都府さんのみですか。

○委員（山田啓二） 京都は製品指定ではなくて成分指定を行うために今審議会に

かけるための準備をしています。

○広域連合長（井戸敏三） 私ども兵庫は条例指定の体系が違いまして販売店指定をして、その販売店を監視する。そしてもし違法ドラッグが取り扱われているような差しどめをするようなやり方になっていますので、販売店の確認が今のところできてないので、販売店指定は直ちにはしにくいのではないかという状況になっているということだと思います。

○共同通信社記者 ただ、何らかの制限、指定をかけようかという検討はされてる。

○広域連合長（井戸敏三） その検討はあわせてしております。

○委員（三日月大造） 滋賀県は医薬品医療機器法、旧の薬事法に基づいて無承認無許可医薬品として取り締まるということとあわせて啓発を講ずる予定です。

○共同通信社記者 既にもうされてらっしゃる。これから。

○委員（三日月大造） 法に基づいてやるということで条例に基づく指定はしません。

○広域連合長（井戸敏三） 睡眠医薬品扱いだったらどこでもやる・・・。

○委員（山田啓二） 医薬品として売られてないというところが問題。

○広域連合長（井戸敏三） 確認をする必要がある。

○広域連合長（井戸敏三） それでインターネットでしょ。

○委員（植田浩） 大阪府は問題意識を強く持って今情報収集に努めているところで今直ちに条例化ということを検討しているわけではないですが、十分検討はしている状況です。

○広域連合長（井戸敏三） 鳥取さんはもう指定された。

○副委員（林昭男） 知事指定でね。候補薬品について。

○広域連合長（井戸敏三） 和歌山もやられてるんですね。

遅れをとっているようなら急いでやります。

○共同通信社記者 わかりました。ありがとうございます。

○事務局　よろしいですか。他にございませんか。いいですか。それではこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

閉会　午後５時０１分